

令和 7 年度使用後期課程用 教科用図書採択理由

教科(種目)	発行者／採択教科書
	採択の理由(内容、資料、表記・表現など)
国語 (国語)	光村図書／国語 1 国語 2 国語 3 ・ 「問いをもつ」こと(課題発見)に焦点を絞りながらも、さらに課題解決能力全体を伸ばすような学習過程を踏んでいる。特に「学びへの扉」や「学びのカギ」、「学びの地図(QR コンテンツ)」などで、学習の見通しをもつこと、どのように課題を解決するといった、具体的な解決した姿として見ることができる。 ・ 全国学力状況調査が、CBT(コンピュータを使用した試験)になる予定であることを見越し、教科書の問題や発展問題に CBT 形式で取り組むことができる。さらにデジタルコンテンツも豊富であり、動画などで話す聞く姿を見ることができる。 ・ 「語彙ブック」という形で、生徒がたくさんの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するための教材が位置付いている。 ・ 日常生活から題材を取り上げ、文法や言葉の学習を知識の詰め込みに終始せず、必然性をもって学べるような単元構成をしている。
国語 (書写)	東京書籍／新編 新しい書写 一・二・三年 ・ 配当時数内に、各学年で求められる資質・能力を着実に身に付けられるよう、単元・教材が精選され、適切な単元数・分量で硬筆と毛筆の学習ができるよう配慮されている。 ・ 文字を整えて書くための汎用的なポイントとして「書写のかぎ」を位置付け、各単元に 1 事項ずつ焦点化しながら配置されているため、生徒に書写の原理原則を負担なく確実に習得できるよう工夫されている。 ・ 「生活に広げよう」という単元では、書写の学習で身に付けた知識・技能を生活の場面でどのように生かすか考えられるよう、生徒にとって身近な例を豊富に示し、意識づけられるようにしている。 ・ 日常生活と関わりの深い横書きの書き方を各学年で取り上げているため、指導しやすさがある。 ・ 毛筆の学習において、穂先の位置が分かりやすいよう淡墨の文字写真を用いたり、筆脈や、既習の文字の動きを生かす部分を図示したりするなどしながら、生徒の理解を助けている。

社会 (地理的 分野)	東京書籍／新編 新しい社会 地理 - 単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、「課題をつかむ（導入）＜動機付け＞＜方向付け＞」→「課題を追究する（展開）＜情報収集＞＜考察＞」→「課題を解決する（まとめ）＜振り返り＞」を設け、生徒が単元の学習をどのように進めていけばいいのを見通しをもち、主体的にそして効果的に学習が進められるようになっている。この点において、様々なことに興味・関心をもっている本校の生徒が用いる上で相応しいものであると考える。 - 全ての単元に、単元のねらい、一単位時間の課題を明示し、探究的な学びを効果的に進められるようにしているとともに、各単元の前には「写真で眺める～」と題し、生徒自ら「問い」を設定し、見通しをもって探究的な学習に取り組めるよう、学習計画を立てる場面が重視されている。これは「問い」を立てることを重視している本校の社会科の研究にも親和性がある。単元終盤の「まとめの活動」では、どの単元にも「探究のステップでふり返ろう」、「探究課題を解決しよう」というコーナーが位置付けられ、単元で学習してきたことをまとめる活動があり、これをもとに仲間同士で話し合う活動を位置付けることで、よりよい方策・社会の在り方を創造することができる。また、今日的な課題に関わる内容が多いため、単元で学習してきたことを生かして、社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習ができるので、本教科書がと相応しいものであると考える。 - 各節終盤の「まとめの活動」にある「みんなでチャレンジ」には「～についてグループで話し合しましょう」「発表し合しましょう」という文言が必ず掲載され、社会的事象に関する自他との対話を通して、多様な価値観に触れることで、「既存の社会のあり方等を見直すことも含め、社会的事象について、互いの考えを伝え合い、聞き合い、尊重し合うことを通して、自らが生きる社会のより良い在り方を考え、参画していこうとする自律的な児童生徒」という本校社会科部会の目指す児童生徒像に近付くことができると感じる。 - 他教科との関連では、ページの右下に教科と単元名を位置付けており、どの教科のどの単元と関連しているのかを分かりやすくしてある。そこには必ず「D」マークがあり、デジタルコンテンツを用いて、関連する教科のデジタル教科書を見て学びが進められるようになっている。また、文部科学省が掲げる「STEAMの各分野が複雑に関係する現代社会に生きる市民、新たな価値を創造し社会の創り手となる人材として必要な資質・能力の育成に向け、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進する」という今後の教育の在り方とも一致する。
社会 (歴史的 分野)	東京書籍／新編 新しい社会 歴史 - 単元導入で「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いが明記されている。この問いの質、内容が充実している。また、章全体を貫く「探究課題」を解決するために、節の問い「探究のステップ」を設ける探究的な学びの過程が、学習指導要領の趣旨をより反映したものとなっている。生徒がこの問いをもとにして、主体的な学習を展開できるよう工夫がなされている。 - 生徒が、自らの考えを整理し、表現する方法を身に付けることができるよう単元末のまとめで整理をする構造になっている。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点で視点が整理されており、3観点がバランスよく育まれる構造になっている。

社会 (公民的 分野)	東京書籍／新編 新しい社会 公民 - 社会科とは、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成すること」を目指す教科であり、そのような「主権者」を育成することこそが最大の目標とされている。その為に、本校では次の（１）～（３）の資質・能力につながる基礎を育成することを目指している。 - 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 - 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 - 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。【学びに向かう力、人間性等】 - 本校の児童生徒は、学びに対する知的好奇心が高く、主体的に学習に取り組むことができる生徒が多くいる。しかしながら、全ての生徒にとって、主体的に学ぶ機会を提供することは現状の学習では至っていない。よって、彼らの知的好奇心をさらに喚起し、自身の学びを自律的に進めることのできる生徒を育成するためにも、「問い」の連続性を意識して学びを進める教科書構成や、社会的事象と生徒の距離感（レリバンスの構築）に最適な、知的好奇心を喚起する資料提示等の特色がある教科書が本校の研究内容との一致が多くの部分であると判断した。
社会 (地図)	帝国書院／中学校社会科地図 「地図で発見！」と題した地図から得られる情報を基にした問いによって、社会的な見方や考え方を働かせながら、地図帳を活用し、自他の多様な価値観や考え方に気づき、共有する場のきっかけとすることができる。また、日本の様々なテーマに合わせた主題図を約 20 ページにわたってまとめており、生徒自身の「問い」や探究テーマに合わせて活用することができるようになっている。これらの資料をもとに『問い』について探究し、仲間と対話する活動を位置付けることで、よりよい方策・社会の在り方を創造することができる。また、今日的な諸課題に関わる資料や内容も多く扱われているため、単元で学習してきたことを生かして、自分から社会に参画したり、既存の組織に提案・発信したりする学習ができるので、本地図が相応しいものであると考える。

数学 (数学)	東京書籍／新編 新しい数学 1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学 2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学 3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ - 掲載されているデジタルコンテンツが比較的多く、シミュレーションソフトを活用することで、図形を操作したり、表やグラフなどを作成したりすることができるので、数学的な表現を用いて自分の考えを伝え合うことが促され、思考力、判断力、表現力等の育成に期待ができる。 - 他教科に関連する教材には、「教科リンク」があり、他教科の教科紙面を閲覧できる機能があるので、教科横断的な学びを通して、学習で得た「知識・技能」を実際の多様な場面で活用する力が育成されたり、日常の場面でどのように数学が活用されているかを身近に感じたりする学びを展開することができる。 - 章末に日常における諸問題の解決のための数学的な見方考え方を働かせるような問題が配置されていたり、データの活用領域では、生徒たちに切実感のある問題が設定されていたりするため、生徒が目的意識をもって問題に取り組むことができる構成になっている。
理科 (理科)	東京書籍／新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3 - 探究を通して身に付けさせたい資質・能力を、簡単な言葉に置き換えアイコン化して配置してあるため、今の自分が「探究の過程」のどの段階に位置しているのかが非常に分かりやすくなっている。特に本書は見方・考え方を働かせられる場面も適宜示されているため、「理科の見方・考えを働かせて科学的に探究する力を育む」という教科の目標に沿ったつくりになっている。 - 他教科との関連や日常生活との関わりを取り上げている記述やコラムが5者の中で比較的多く、学習の幅を広げたり既習内容を用いて、更なる探究につなげたりしやすいつくりになっている。 「前期課程の内容とのつながり」が効果的に記されている。これまで学習した内容やキーワードについて、つながりが必要とされる箇所に的確に記載されている。生徒はどの学びを引き出せばよいかが分かりやすく、これまでの学びを生かして新たな学びを形成できるよう工夫されている。 - 単元内の複数箇所に、「活用」と題した「探究課題」が提示されているため、「この場合はどうなるのだろうか？」と生徒の探究心を刺激し、その後の更なる探究につなげることができる。

音楽 (一般)	教育芸術社／中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下 ・ 学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かるようになっている。 ・ 生徒の発達段階に応じて三つの資質・能力を無理なく育むことができるよう、小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容を配列している。本校の前期課程でも、本者を採用しており、義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育むことができる。 ・ 表紙には、イラストレーターによって音楽に触れたときの驚きや感動、音楽で表現する喜びが鮮やかに描かれ、生徒が親しみやすく音楽科の学習に意欲的に学ぼうとする意欲を掻き立てることができる。 ・ 「学びのコンパス」や「My Melody」において、音楽のよさや美しさについて視点を明らかにしながら対話することで、感じ方の広がりを生み出したり、表現に生かしたりすることができる。また、そこにワークシートが配置され、教科書の手順に沿って学習を進めることで、生徒が自分の考えを整理しながら、主体的・対話的な深い学びを実現することができる。 ・ 前期課程で継続的に学んできた日本音楽を、「日本古来の芸能」「雅楽」「能楽」「近世邦楽」に分類し、それぞれの特徴について学びを深めることができる。また、自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、各地に伝わる民謡を始め、祭りや芸能を取り上げ、我が国や郷土の音楽文化を尊重する態度を育むことができる。 ・ 「生活や社会の中の音や音楽」や著作権や ICT に関わる内容の掲載によって、音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかといったことに生徒が意識を向けることができるようになっている。これは、本校音楽科の研究内容でもある、音楽の学習を通して社会とつながることに活用することができる。
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社／中学生の器楽 ・ 学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かるようになっていることは、生徒にとっても、器楽の学習を通してどのような音楽の力を身に付けることができるのかを確認することができ効果的である。 ・ 「学びのコンパス」を通して、音楽を形づくっている要素を身に付けるための手立てが位置付けられ、教科書の手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができる。 ・ 各頁に二次元コードを掲載し、豊富なデジタルコンテンツを通して学ぶことで、豊かな表現を引き出すための手立てとすることができる。 ・ 表紙には、イラストレーターによって音楽に触れたときの驚きや感動、音楽で表現する喜びが鮮やかに描かれ、生徒が親しみやすく音楽科の学習に意欲的に学ぼうとする意欲を掻き立てることができる。 ・ 生徒の発達段階に応じて三つの資質・能力を無理なく育むことができるよう、小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容を配列している。本校の前期課程でも、本者を採用しており、義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育むことができる。

美術 (美術)	日本文教出版／美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来 ・ 前期課程で、日文の教科書を使用しており、9年間の学びを見通した題材設定ができる。 ・ 本校の生徒は、美術の学習課題に取り組むことができるが、自分は何を表現したいのか主題をもち発想と往還させ学びを広げていく力や練り直しながら粘り強く取り組む力に弱さを感じる。技能に関する記述や資料が多く、「学びの目標」や「造形的な視点」から発想を広げたり、造形的な見方・考え方を広げることができたりする。
保健体育 (保健体育)	東京書籍／新編 新しい保健体育 ・ 全体的に説明や表の取り入れ方、表記の仕方が分かりやすい。 ・ 学びを深め広げる資料や QR コンテンツが豊富であり、ICT 機器を活用した学習場面が掲載されているため、生徒が自分の興味関心や疑問に思ったことを自ら学ぶことができるように仕組まれているため、個別最適な学びが展開されやすい。 ・ 応急手当の実技資料など実生活で生かせる内容が詳しく掲載されているため、日常生活とつなげながら、命を守ることや安全な生活についての考えを深め広げることができる。 ・ 今日的な課題（多様性、共生、性の多様性、SOGIE の考え方、SDGs など）に対応し、その内容が具体的であり、生徒自身が身近に感じることができるといえる資料である。 ・ 性の多様性について、表記の仕方が多様性を重視した記載である。（例：異性→異性などほかの人）
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍／新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology ・ 技術分野で大切にしたい見方・考え方が、「技術のめがね」「最適化の窓」を用いて考えられるようになっている。問題の発見や、修正といった場面での活用をしやすい。 ・ 情報のプログラミング学習において、micro:bit や scratch が例として示されており、本校の学習で扱っている使用教材と一致している。 ・ 見開きごとに二次元コードが記載されており、生徒が自分で説明動画や思考ツールを活用して、学習することができる。コンテンツの数が多数あり、教師が授業で扱いやすいことや、生徒が自分で QR を読み込み、シミュレーションツールで試行錯誤しながら考えることができるなど、主体的に学習を進められるよう工夫されている。
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍／新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して ・ 家庭分野のねらいであるよりよい生活を目指すために、日々の生活を見方・考え方の視点から多角的に見つめることで、生徒自らの問題発見につながることを期待できる。また、各編の扉のページに主に働かせる見方・考え方の視点を示し、意識を高めている。 ・ 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」では、実習前、実習中、実習後の確認に加えて、食物アレルギー症状やけがの応急処置などの掲載があり、安全・衛生についての理解を深めることができる。 ・ 調理の手順の表記がページごとに統一されており、複数の料理も同じ時間軸で調理の流れを確認することができる。 ・ 実物大の食品の画像や右利き左利き両方に対応した画像の掲載があり、生活経験（調理、洗濯、裁縫）が少ない本校の生徒にも、イメージを抱きやすいコンテンツが多い。

外国語 (英語)	東京書籍／NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3 ・ 知識及び技能を習得する活動から、思考・判断・表現する活動へと段階を踏んだ構成で、生徒にとって学習内容が定着しやすい工夫がなされている。 ・ 小中連携を意識した構成、学習内容となっている。特に1年生の教科書は、聞くこと・話すことを通して文字や音声に慣れ親しんだ上で、文章を読み書きしたり、自分のことを表現したりする構成となっており、4技能5領域において効果的な接続が意識されている。 ・ 小集団での話す表現活動が設定されており、協働的な学習ができるようになっている。 ・ 本校の英語科が実践している「ラウンド学習」において、単元末の活動が、生徒自身が話したいことや構成を自由に選択し、自分の伝えたいことを話す活動になっている。また、本文内容に関する写真やイラスト、資料、ストーリースライドを活用できるため、本文内容を自分の言葉で伝える活動であるリテリングを行う際に便利である。
特別の教科 道徳 (道徳)	日本文教出版／中学道徳 明日を生きる 1 中学道徳 明日を生きる 1 道徳ノート 中学道徳 明日を生きる 2 中学道徳 明日を生きる 2 道徳ノート 中学道徳 明日を生きる 3 中学道徳 明日を生きる 3 道徳ノート ・ 問題解決的な学習と体験的な学習を6時間以上配置している。 ・ 学びの見通しをもつページやそれに伴ったミニ教材が掲載されており、道徳の学習の進め方がイメージしやすくなっている。 ・ 付属の「道徳ノート」では、授業者や生徒の思考に合わせた記述がしやすくなっている。 ・ シンキングツールやその活用法が紹介されており、自分や仲間の考えが整理しやすくなっている。 ・ 現代的な課題に対応した教材がユニット化されており、異なる内容項目で学ぶことができる。 ・ アンガーマネジメントやアサーションなどの、感情に向き合ったり対人関係スキルを身に付けたりする内容が各学年に位置付けられている。